



雪舟回廊

（岡山県・広島県・島根県・山口県）

「雪舟作と伝わる庭園」「雪舟が描いた絵画作品を鑑賞できる施設や空間」「雪舟ゆかりの地」の3つの視点から、雪舟に関する自治体を結び付けたのが雪舟回廊です。雪舟が見たであろう風景や雪舟の世界観を追体験できる旅を提案します。

雪舟の作品に出会える旅

室町時代の画僧・雪舟と縁のある中国地方6市（総社・井原・益田・三原・山口・防府）で、雪舟の作庭伝承を持つ庭園を中心に、ゆかりの地をつなぎます。絵画作品だけでは伝わらない雪舟の世界観が、庭園を通して見えてきます。その逆もまたしかりで、絵画作品と庭園の両方を通して、雪舟が発信した日本の美を体感することができます。さあ、雪舟の作品に出会える旅に出かけましょう。

Route 1 雪舟庭園満喫コース

1泊2日で西のエリアをコンパクトに巡ります。「萬福寺庭園」「医光寺庭園」と益田市内の庭園からスタートし、山口市内の湯田温泉に宿泊。2日目は山口市内から始め、「常栄寺庭園」「常德寺庭園」など、9つの構成庭園のうち7つを回ります。

Route 2 雪舟の足跡を巡る旅

1泊2日で東のエリアを回るコース。広島から岡山へと進み、雪舟の人生をさかのぼります。雪舟が涙でネズミの絵を描いたという逸話が残る「井山宝福寺」などを巡り、最後は生誕の地へ。1420年備中赤浜（現総社市）に生まれた雪舟は、2020年に生誕600年を迎えました。

Route 3 雪舟と中世の街並みコース

2泊3日で公共交通を使うコースです。益田からスタートし、電車やバスを乗り継いで山口、防府を巡ります。益田の「島根県芸術文化センター グラントワ」、山口の「香山公園（瑠璃光寺）」など、雪舟関連以外の場所にも立ち寄りながらゆっくり観光を。

※ルート1～3のコース（訪問場所とその順路）詳細は、Japan Garden Tourism web サイトをご覧ください。
<https://japangardentourism.net/tourism/sessyu/>

History 謎多き人物に迫る

雪舟は京都で修業後、山口の大内氏のもとで画僧として活躍するとともに、情報収集の役も担って各地を旅しました。1467年には遣明船の一員として中国に渡り、画業を修めています。その後も山口を拠点として旅を続け、多くの絵画作品や庭園を残していますが、没年や没した地などの詳しいことはわかっていません。世界十大文化人に選出されるなど、今なお国内外を問わず多くの人々を引き付けてやまない雪舟。その足跡を訪ねる旅を通して、謎多き画僧の横顔に迫ってみませんか。



雪舟サミット

総社市の呼びかけで雪舟ゆかりの自治体が集い、1990年から雪舟サミットがスタート。現在2年に1度のペースで開催し、講演・セミナー、イベント、周遊キャンペーンなどを通して地域交流を図っています。



雪舟ゆかりの武将カード

雪舟と島根、山口にゆかりのある武将（大内氏、毛利氏、益田氏）をカードにして、各観光施設に入館した人に期間限定でプレゼント。カード表面には肖像画、裏面には略歴や寺院の紹介文などが載っています。



あうたびオンラインツアー

雪舟回廊を巡るオンラインツアーを実施しました。地域応援特産品セットを購入して、オンラインで地域の人々と交流。一味違った目線で6市の魅力を知ることができる、新しい楽しみ方の提案となりました。



Area

中世日本の傑作、益田

益田市では「中世日本の傑作 益田を味わう —地方の時代に輝き再び—」が令和2年度日本遺産に認定されました。中世、益田地域の領主だった益田氏は地域資源を生かして日本海交易を進め、経済的繁栄のもとで独自の文化を花開かせました。現在の益田にはその歴史を物語る街並みや文化財が多く残っています。日本遺産のストーリーを構成する文化財は全部で26。雪舟回廊を構成する「萬福寺庭園」「医光寺庭園」もこれに含まれています。

一言お願いします！

雪舟サミットでは、私自身、その土地ならではの食や地酒、おもてなしを毎回楽しみに参加しています。オンラインツアーだけではなく、実際にお客様にお越しいただき、雪舟ゆかりの6自治体の魅力を感じていただきたいと思います！



雪舟回廊協議会 中島光太郎さん

